

各位

2020年12月22日
公益財団法人 SBI 子ども希望財団

「子育て支援フォーラム in 大阪～若者が輝く社会を共に考える～」開催のお知らせ

公益財団法人 SBI 子ども希望財団（所在地：東京都港区、理事長：田淵 義久、以下「当財団」）は、公益社団法人日本医師会、一般社団法人大阪府医師会と共同で「子育て支援フォーラム in 大阪～若者が輝く社会を共に考える～」を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

記

「子育て支援フォーラム in 大阪」開催概要

日時： 2021年2月13日（土）14:00～17:00

場所： 大阪府医師会館2階ホール
大阪市天王寺区上本町2-1-22

参加費： 無料（先着170名）【当日WEB配信あり】

プログラム概要：

- 基調講演： 「子ども虐待と脳科学 —アタッチメント（愛着）の視点から—」
座長： 光田 信明（大阪母子医療センター・副院長）
講師： 友田 明美（福井大学子どものこころの発達研究センター教授）
- シンポジウム： 1 「大阪市社会的養育推進計画について」
瑞慶覧 薫（大阪市こども青少年局子育て支援部こども家庭課長）
2 「伝えたい。今ここにいる私。」
飯田 芽生愛（第42回全国高等学校総合文化祭弁論部門最優秀賞・文部科学大臣賞受賞者）
3 「今日の子ども家庭と社会的養育の現状と課題」
加賀美 尤祥（社会福祉法人山梨立正光生園理事長）
4 「マルトリートメント家庭への、家族併行治療」
杉山 登志郎（福井大学子どものこころの発達研究センター客員教授）

詳しいプログラム、ご参加申込方法等は、別添資料もしくは下記よりご覧ください。

【子育て支援フォーラム in 大阪～若者が輝く社会を共に考える～】

https://www.med.or.jp/people/info_event/seminar/005325.html

本フォーラムでは、増え続ける児童虐待について「社会全体としてどう取り組んでいけばよいか」というテーマを掲げており、児童虐待の現状をご理解いただくと共に、次世代の健全な育成を目指すという観点からも広く一般の方にもご参加いただきたいと考え、2011年より毎年全国各地で開催し、多くの方にご参加いただいております。

当財団では、今後も、子どもたちが自分の可能性を追求し、将来立派に自立していけるような支援活動を目指し、子どもたちの入所施設の改善・充実はもちろんのこと、子どもたちの育成にも焦点を当てた活動を展開してまいります。

【公益財団法人 SBI 子ども希望財団 概要】

SBI 子ども希望財団は虐待を受ける等厳しい境遇に置かれた子どもたちの福祉向上を目的に2005年10月に、SBIグループの社会貢献活動を行う財団法人として設立され、2010年3月に公益財団法人へ移行しました。児童福祉施設等への寄付や児童養護施設の職員を対象とした研修、施設退所後の子どもたちの自立支援のほか、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止啓発活動も積極的に行っています。

SBI 子ども希望財団のホームページ：<https://www.sbigroup.co.jp/zaidan/>

以上

【お問い合わせ先】

本プレスリリースについて：

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

子育て支援フォーラム、SBI子ども希望財団の活動について：

公益財団法人 SBI 子ども希望財団 03-6229-1003



子育て支援
フォーラム

in 大阪

若者が輝く社会を 共に考える



ちいさなえがおを
まもりたいから。

榎本美帆さん
2020年度 オレンジリボン
公式ポスターコンテスト
SBI子ども希望財団賞受賞作品

児童虐待は依然として増加傾向が続き、大きな社会問題となっております。特に死亡児の低年齢化、中でも0歳児に集中していることが明らかになり、虐待による子どもの死亡を予防するためには従来の早期発見・早期対応に加え、その発生を予防する取り組みが必要です。そのためには、妊娠・出産・子育てに対する具体的な対応を含め、社会全体で取り組む必要があります。次世代の健全な育成という視点から、一般市民等を対象としたフォーラムを開催し、児童虐待防止に向けた啓発活動、情報提供を行います。

当日
WEB配信
あり

参加費 無料

定員 170名

日時

令和3年 2月13日(土)
14:00-17:00

場所

大阪府医師会館
2階ホール

※事前のお申込みで託児施設がご利用いただけます。[託児申込締切:令和3年1月29日まで]

主催

公益社団法人日本医師会
公益財団法人SBI子ども希望財団
一般社団法人大阪府医師会

後援

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本小児科医会、大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、堺市、堺市教育委員会、大阪産婦人科医会、大阪小児科医会、毎日新聞社、全国児童養護施設協議会、全国母子生活支援施設協議会、全国乳児福祉協議会

参加ご希望の方は、裏面の申込書にご記入の上、郵便またはFAXもしくは大阪府医師会ホームページよりお申込みください。
※新型コロナウイルス流行状況によりWEB配信のみの開催となる場合があります。

子育て支援フォーラム in 大阪 ～若者が輝く社会を共に考える～

日時: 令和3年2月13日(土)

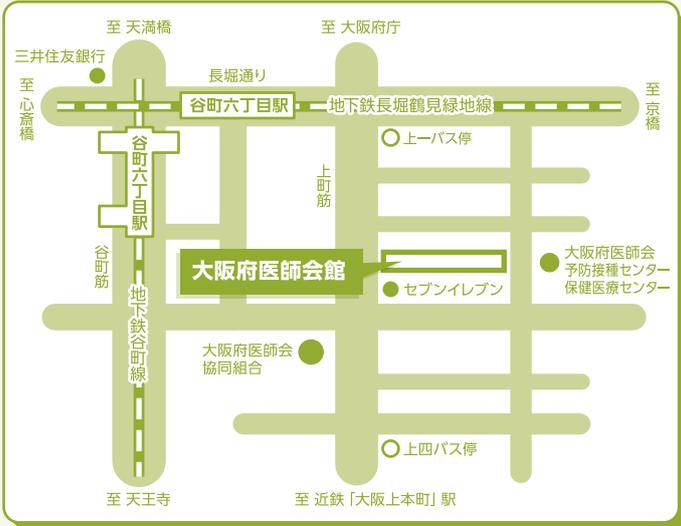
14:00～17:00

場所: 大阪府医師会館2階ホール

〒543-8935 大阪市天王寺区上本町2-1-22

TEL:06-6763-7012

◆大阪メトロ地下鉄谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」駅
(3番・7番出口)より徒歩約8分。
近鉄線「大阪上本町」駅より徒歩約15分。



プログラム

司会: 笠原 幹司 (大阪府医師会理事)

- 開 会 14:00
- 挨拶 14:00～14:10
中川 俊男 (日本医師会会長)、茂松 茂人 (大阪府医師会会長)
- 基調講演 14:10～15:10
座 長: 光田 信明 (大阪母子医療センター・副院長)
「子ども虐待と脳科学 -アタッチメント(愛着)の視点から-」
友田 明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター教授)
- パネルディスカッション 15:20～16:30
座 長: 森口 久子 (大阪府医師会理事)
(1)「大阪市社会的養育推進計画について」
瑞慶覧 薫 (大阪市子ども青少年局子育て支援部子ども家庭課長)
(2)「伝えたい。今ここにいる私。」
飯田 芽生愛 (第42回全国高等学校総合文化祭弁論部門最優秀賞・文部科学大臣賞受賞者)
(3)「今日の子ども家庭と社会的養育の現状と課題」
加賀美 尤祥 (社会福祉法人山梨立正光生園理事長)
(4)「マルチリートメント家庭への、家族併行治療」
杉山 登志郎 (福井大学子どものこころの発達研究センター客員教授)
- 総合討論 16:30～16:55
- 閉 会 16:55～17:00
田淵 義久 (SBI子ども希望財団理事長)

参加ご希望の方は、この申込書にご記入の上、FAXまたははがきにてお申込みください。



はがきによる申込みも
受け付けております。

はがきには必ず 1. 郵便番号 2. 住所 3. 氏名
4. 電話・FAX 番号 5. 参加区分を忘れずにご記入の上、
お送りください。

申込締切: 令和3年1月29日(金)必着

※定員になり次第、締め切らせていただきます。※参加確定者の発表は
参加票の発送をもって代えさせていただきます。(2月上旬頃から順次)
※フォーラム当日、現地参加者は参加票を忘れずにお持ちください。

郵 送

〒543-8935 大阪市天王寺区上本町2-1-22
大阪府医師会・地域医療1課

FAX

06-6766-2875

HP

<https://www.osaka.med.or.jp/>

[トップページ・PICK UP「子育て支援フォーラムin大阪」
ページよりWEB申込みフォームへ]

お問い合わせ

06-6763-7012 (大阪府医師会・地域医療1課)

参加申込書

子育て支援フォーラム in 大阪
若者が輝く社会を共に考える

(令和3年2月13日(土)開催)

住 所	〒 -			託児施設のご利用 有・無	
				託児人数 / 託児年齢	
氏 名	電話番号	-	-	男児	人 / 歳 ヶ月
	FAX	-	-	女児	人 / 歳 ヶ月
参加区分	1. 現地参加のみ希望 2. WEB視聴のみ希望 3. 現地・WEB視聴いずれも可 (いずれかひとつに○) ※新型コロナウイルス流行状況によりWEB配信のみの開催となることがありますのでご了承ください。				
	「2.」「3.」を希望の方は、必ずメールアドレスをご記入下さい。 (WEB配信する際のURLをお送りします) []				

※ボールペンでご記入ください。※参加希望者の個人情報、第三者に提供することはありません。※電話番号は常時連絡可能な番号を記載ください。
※2名以上の参加ご希望の方は、この用紙をコピーしてお申込みください。

↓ FAX送信 06-6766-2875 ↓